



～お葬儀屋さんのひとりごと～

良い葬儀屋さんの見分け方

葬儀で心配なのは、やっぱりお金への不安が一番あるようです。まずはお金にまつわる事からお話しましょう。それから、こうしたら葬儀の準備ができますということ、大きな意味で葬儀の前に知っておくと得することをご紹介します。



・葬儀の仕事の大変な部分は実はソフト部分

ソフト（人）の部分が現在の葬儀屋さんとしての核になるのです。同じ道具でも飾り方一つで印象が変わりますし、「死」というデリケートな部分を扱うだけにそれなりの人間としての能力と覚悟が必要になってきます。正直に言うと、良い葬儀屋さんを見分けるのは大変難しいです。装飾におけるセンスとか、人の心をケアする能力は一見してわかるものではないと思われます。結局、人柄やモラルといった言葉でしか表せない部分もあります。そうすると、お客さんの人を見る目も必要になってくるのですが、実際の知識量の差があるのでそれを見定めるのが難しいと思います。

・それでは心ない葬儀屋さんを見分ける方法は？

こっちは結構簡単です。悪い業者さんというのは「自分だけにメリットがあるように葬儀を施行する業者」のことです。それによって元来守られるべき遺族の「よいお葬式をする」という権利を奪ってしまうヤツです。悪いヤツがやりがちなことをおさえていけば酷い目には合わないと思います。

1. 見積書も出さずに最後にびっくりするような金額を出します

必ず事前に見積書を出してもらいましょう。終わってからとんでもない金額になっていたりなど、遺族の方が辛い思いをするかもしれません。

2. 質問に答えられません

自分の懐の心配ばかりで、日々勉強することなどありません。いいお葬式を提供しようと思わない限り勉強などしないからです。

3. 態度が横着である

故人に対し尊厳の気持ちなどもっていないので大切に扱わないし、遺族の方に対しても言葉づかいや態度が悪い業者には気をつけましょう。

4. 葬儀屋さん主導で押しが強い

御遺族の希望や想いを聞かずに、お葬式の話が強引に進めていく業者は気をつけてください。業者のなかには社員の給与が歩合制のところもあるので、高額な商品を言葉たくみに売り付けてくるかもしれません。

5. 病院やインターネットで紹介の業者

病院の紹介やインターネットで葬儀屋さんを紹介するところもありますが、そういう業者の中には消費者が払う実質的な葬儀の費用に加えて、紹介手数料を葬儀代金に上乗せして請求する場合があるので注意が必要です。

もし万が一、どうしても心ない葬儀屋さんに当たってしまったら・・・

物品の提供を受ける前に他の葬儀屋さんに切り替えることを強く勧めます。心ない業者は口込みでは仕事が取れないので、警察や病院など利権の絡むところで待ち受けているかもしれません。その指定だから、紹介だからといって安易に選ばないでください。結局、大きなところは「うちは紹介しただけだから・・・」と責任はとってくれません。かといって葬儀屋さんを知らなければ、電話番号もわからない、だからそこに頼むしかないと思うのかもしれませんが、でもそういう訳でもないんです。ご遺体が傷むのが心配なら、車での搬送とドライアイスだけ頼んで人づてで何処かの葬儀屋さんを頼んでも間に合うのです。一人でも多くの方が良いお葬式をあげられるように、この業界の現状と注意点を皆さんにお伝えしておきます。